

おたより 113号

私のひとりごと

石丸博巳

ひどいことをする国があるものですね。自分の身が危なくて気に入らないから、隣の国に戦争を仕掛ける。そして徹底的に破壊をしていく。国民が残忍な殺され方をしていく。本当に見ていられない光景です。

今回の戦争はロシア大統領プーチン一人の思いで起こした戦争ですし、突然派遣されたロシアの兵隊も、まさか、ウクライナの人々を殺戮する戦争を始めるなんて思いもよらなかったことだと思います。



私の知りえる情報の中で、ロシアの戦争犯罪は国際的に見ても決して許せるものではないと思います。市民に対する殺人、連れ去り、拷問、レイプ、本当に組織的で大規模な戦争犯罪だと思います。

国際連合でこの戦争犯罪の採決をすると、中国やインドは仕方ないとして、その他のほとんどの国が賛成に回ると思っていたのに賛成の国の数の半数の国が反対するので、残念な事です。国際連合が機能していません。

一つ間違うと第三次世界大戦が勃発するかもしれない状況になってきました。私たち民主主義の社会とロシアや中国みたいな専制主義国家社会との戦いになってきてしまっているように思います。まわりを見てみると本当にたくさんの独裁軍事国家が増えてきているように思えます。

21世紀は戦争のない穏やかな時代であって欲しいのに

ロシア戦争のお蔭でまた建築資材が入ってきません!!

世界的なコロナ感染によって、アメリカや中国からの木材が入ってこなくなり、半導体の不足でエコキュートなどの電化製品も入荷遅れになって家造りが非常に困難になっていました。最近やっと少し明るさが見えてきたように思ったのに、ロシアが戦争を始めて、国際的に経済制裁を始め、日本もロシアからの輸入を減少させているため木材が入ってこなくなっています。経済制裁はやむないと思いますが、日本みたいな資源のない国はすぐに行き詰まってしまうと思います。

ベニヤ板に使うための木材の原料や、柱などを作るための原木はロシアからの輸入が多いために、製品が高くなったと言わんばかりで、無くなって来てしまっているという事です。

私たち建築屋はどうやって仕事をしたらよいのでしょうか。

今月の写真紹介

坂井町大味 玉山太一様

設計・株式会社ハウズ haws建築設計事務所 様



施主様の言葉

6歳と4歳のわんぱく息子と私たち夫婦4人家族は、長野県に住んでいました。福井から転勤で移り住んだのは6年前。転勤前に新築計画をしていましたが、だいぶ延期になり、今回長男の就学を期に福井に戻ることになり、新築を再開することになりました。しかし、コロナ禍で見通しづら



い状況。定期的に帰省する予定がほぼweb打合せ、地鎮祭は何とか帰省できたものの現場に足を運べたのは3回。石丸ハウスセンターさん

にはLINEで連絡や現場写真を送って頂いたりし、おかげさまで2022年春、完成。

私たちがつくったのは、楽になる家、気持ちが開放できる勾配天井のリビング。家事時間を少しでも子どもとの触れ合いにシフトしたい家事効率を優先した間取りや設備。想定外のリモート新築でしたが、様々な方の協力のおかげで、快適な住まいが実現しました。



福井は地元ですが、福井での子育て経験はゼロ。めまぐるしい春ですが、これから毎日起こる思いもよらない出来事がこの家を彩ってくれるでしょう。

玉山太一様

ずっと側にいる、という安心。

株式会社 **石丸ハウスセンター** TEL 82-5533

一級建築士事務所 FAX 82-5537

〒913-0044 福井県坂井市三国町山王4丁目5-31 ホームページ <http://ishimaru-housecenter.co.jp>

あとがき

11年前の3月には東日本大震災が起こりました。何も知らずに家に帰ってきたら、テレビに大津波の映像が流れていました。車で逃げ惑う人や、波を背にして丘の上に逃げようとしている人。今回の戦争だって、今までの普通が、一瞬で普通でなくなってしまうのです。「無常」です。本当に、今を大切に生きていかなきゃ。